



代表取締役 貝本 高宏

大阪府知事認可 大阪葬祭事業協同組合 副理事長
大阪市小学生バレーボール交流会 会長
地車腹見 東小路青年会 会長

大阪府出身。学業修了後は異業種に従事するも、創業者である祖父の死をきっかけとして家業である「貝本」の経営に携わるようになった。現在は新たに設立した「あじさいClub」を事業柱として育てるべく、スタッフと共に奮闘している。

Interview

村野 「貝本」さんは創業から70余年を数える老舗だと伺いました。まずは、その沿革からお聞かせください。

貝本 1933年に祖父が「腹見 駕音」の名称で葬祭業を始めたのが当社の興りとなります。以降、54年に「貝本葬祭」と社名を変更、2001年には法人化して現在の形となりました。その間、人々の葬儀の場は故人のご自宅から会館へと変わってきましたが、私どもではあくまで「悔いのない別れの場をご用意する」と

いうことを基軸に、地域のニーズに応えるかたちで事業を進めてきたんです。

村野 寄せられ続ける地元からの信頼が、御社の誠実な姿勢を証していますね。貝本社長は昔から後を継ごうと？

貝本 いえいえ。実は学業修了後は溶接工やトラックドライバーなど異業種に就いていたんです。しかし、日ごろより「後を継いでほしい」と言っていた祖父が他界したことをきっかけに、祖父の希望を叶えようと家業へ入りました。ただ、

最初は何の知識もありませんから、業界資格である「葬祭ディレクター1級」の取得に向けて勉強する中で、基本的な知識を身につけていったんです。ご遺体に対して尊敬をもって接すること、葬儀に

葬儀社の概念を覆す 画期的な新システムで 地域社会に貢献する

一九三三年の創業より、大阪の地で七十年以上にわたって葬祭業を営んできた「貝本」。故人に対する慈しみを第一に据え、弔いの場を用意してきた老舗企業だ。昨今、社会の在り方が急速に変わり葬儀に対する認識も変化を見せる中で、時代に応じたサービスを提供しようと奮闘する、三代目・貝本社長にお話を伺った。



▲社長の奥様であり、「あじさいClub事務局」広報部長を務める貝本仁紀子さん（左端）と、実直な人柄で信頼を集める「貝本」の専務・松宮通雄氏（右端）

Pick Up the Word from Interview コラム

「あじさいClub」を通し、業界全体のイメージアップを

▼長年にわたる経験と実績を持つ葬祭会社「貝本」。同社が打ち出した画期的な会員制システムが「あじさいClub」だ。「葬儀特典」に加え、日常で使える「生活特典」がついたこのシステムは、他に類を見ないものとして好評を博している。日常における「お得感」、そして「もしもの時」の「安心感」。業界の一步先を行くこのシステムは貝本社長の切実な願いから生まれたものだ。▼追加料金や心づけなどの不透明な料金体系をはじめ、現在の葬祭業界は多くの乗り越えるべき課題を抱えている。もちろん良心的な企業はあるが、時には悪いイメージが先行してしま

い、一般の人が不信感を持つことも。「貝本」ではそうしたイメージを払拭すべく、事前説明に力を入れ、明朗な会計システムを徹底してきた。「あじさいClub」はそんな同社の姿勢を一步推し進め、1人でも多くの人に後悔のない「別れ」という理念から誕生したシステムだ。▼社長の想いに多くの地元企業が賛同し、その行動を支えているのも特筆に値するだろう。どんな時でも地域の人と身近にありたいという真摯な姿勢を貫いてきた「貝本」だからこそ、地域社会全体のバックアップを受けられているのだ。今後の同社の活躍が、業界のイメージアップにつながることを望まれる。

受けられるようにしたのです。

村野 具体的にはどういった特典が？

貝本 地域の店舗約500店と提携し、買い物や食事などがお得になる「生活特典」を付けたんです。会員であれば、買い物をする際に10パーセント割引が受けられたり、粗品がもらえたりと、身近なところで日々お得感が感じられるんですよ。入会費に5万円かかるものの、掛金、年会費は一切不要という条件です。「すぐに元がとれる」と非常に好評です。「あじさいClub」は妻が広報を務めているので、ママさんバレーの仲間などを通じて口コミで会員になってくださる方が多いんです。

村野 面白いですね。しかし、なぜそういった会員システムを構築しようと思われたのでしょうか。

貝本 多くの方にとって、葬儀会社は縁遠い存在です。私どもに声がかかるのは、一般的に身近な人が亡くなった後だけ。しかし、私どもとしては一人でも多くの方に、元気なうちから「ご自身の最期の別れ」の在り方について考えていただき、準備を進めていただきたいという願いがありました。悲嘆にくれる遺族にとって、葬儀の手配はあまりにも重荷。葬儀後の後悔などを防ぐ意味でも、元気なうちにご自身で手配していただくのがベストだと感じていたのです。しかし、早くから葬儀について考えていただくためには、もう一步踏み込んだ何かが必要ではないか……。そう考えたときに思い至ったのが、「あじさいClub」でのサービスだったんです。

村野 なるほど。クーポンのような足がかりがあれば、「もしもの時」について

考える良いきっかけになるかもしれませんね。

貝本 おっしゃるとおりです。死は誰にでも訪れるものですが、普段から意識することはほとんどありませんし、私ども葬儀社に対しても、根強い偏見や抵抗感があることは否めません。しかし、私としてはその状況を少しでも変えていきたいのです。今後は「あじさいClub」の周知に一層力を入れ、より多くの方に会員になっていただきたく思っています。ありがたいことに加盟を希望して下さる店舗さんも多くいらっしゃいますので、サービスの拡充も図っていきたくですね。そして、「あじさいClub」を通し

て人の輪を広げるのはもちろん、少しでも当社を身近に感じてもらえるよう、いろいろな取り組みをしていきたいと考えています。

村野 お客様に対する真摯な気持ちを、魅力あるサービスとして実現しておられる。これからの展開が楽しみです。



村野 武範 (俳優)

「葬儀費用にはグレーゾーンが多く、また、悲しみに暮れるご遺族は細かなことまで気が回りません。後になって金銭面でのトラブルが生じることも多いと聞く葬儀業界にあって、「貝本」さんのように誠実な対応を貫いていただけると本当に安心ですね。費用に関する説明なども随時行っているとのことですので、是非一度、ご自身の葬儀について相談してみたいと思いますか？」



有限会社 貝本

大阪府大阪市生野区小路東1丁目16番19号
TEL 06-6751-0042 FAX 06-6751-3004
フリーダイヤル 0120-04-2442
URL: <http://www.kaimoto.co.jp/>



あじさいClub事務局

URL: <http://www.ikuno-navi.net>